

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第61回)

縁と円が大切——エンゲージメント

2023.01.11



経営にITが不可欠なのは分かっているが、なかなか理解できないIT用語。そんなIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は、ITを使って効果を高められる「エンゲージメント」だ。

「社長、わが社も創業30周年になりますし、会社の活性化のためにエンゲージメントに取り組みませんか(総務兼IT担当者)」

「エンゲージメント？社内で誰か婚約でもしたのか。めでたいことだな(社長)」

「似ていますが、婚約ではありません。エンゲージメントは会社に対する従業員の信頼感や愛着心を意味します。会社と従業員がお互いに結び付きを強くして、共に成長しようという取り組みです」

「会社と社員との縁結びというわけじゃな。そういえば、ワシは結婚して35年になるが、かみさんとのエンゲージメントが心配になってきた」

会社と従業員が共に成長する

エンゲージメントは婚約や約束、契約といった意味から転じて、関係性を強くするといった表現でも使われます。会社と従業員との関係性を向上させて共に成長をめざす従業員エンゲージメントや、会社と顧客との良好な関係性を維持してサービスを継続的に使ってもらう顧客エンゲージメント、投資家が会社との対話によって企業価値の向上を促す投資家エンゲージメントなどさまざまな分野でエンゲージメントが注目されています。

テレワーク、転職市場活性化などで
バラバラになりがち



エンゲージメントを強くして
離れていても求心力向上



Q 従業員エンゲージメントが注目される理由は何ですか… 続きを読む